

第79期 中間報告書

2023年4月1日 ▶ 2023年9月30日

心 ひろがる技術

MITSUBA

株式会社 ミツバ

証券コード：7280

Topics

トピックス

中期経営計画の進捗状況 –モビリティ進化への対応

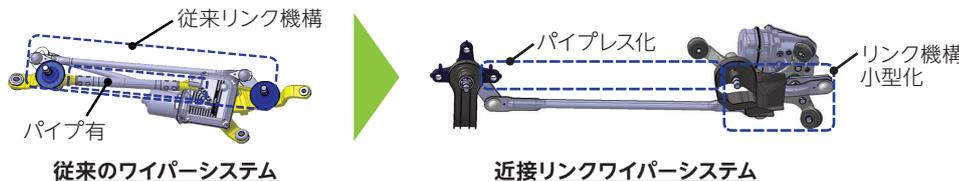
四輪市場向け 【ワイパー】～収益改善に向けた取り組み～

- » ブラシレスモーターによる付加価値向上
 - ・性能を維持しつつ希少金属を使用しないマグネットを搭載したブラシレス制御ワイパーモーターを **世界初** で量産開始。
- » リンク機構の小型化による競争力強化（近接リンクワイパーシステム）



新型ACCORD

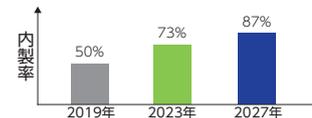
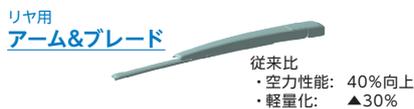
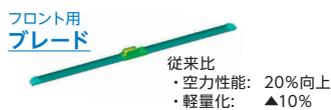
引用元: 本田技研工業株式会社
ホームページ



▶上記2つの組合せにより、従来比で **軽量化▲30%** を実現！競争力向上！

【ワイパー】～収益改善とデザイン性の向上～

- » アーム・ブレードの内製率向上
- » ワイパーブレードの進化
 - ・更なる性能向上とグローバルでの多様なニーズに応えるために・・・



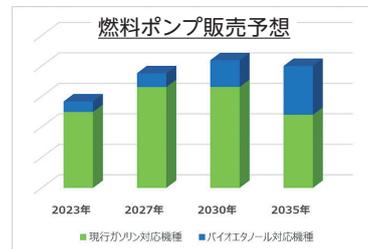
▶ミツバ独自の特許技術「Active-CLIP」採用により拭き性能を向上！

二輪市場向け 【バイオエタノール燃料車向け製品】

- » 各国の充電環境などのインフラを考慮するとEV車への全面移行には相応の時間を要する。
- » そのためEV化とは異なるカーボンニュートラルの実現方法である「バイオエタノール燃料車」も注目を集めている。
- » **ミツバはブラジル市場ですでに実績があり、**それを強みとして今後のグローバル市場での拡販を進める。



バイオエタノール燃料車向け燃料ポンプ



株主の皆様へ

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、引き続きロシアによるウクライナ侵攻、高インフレや金融引き締め、中国の景気減速などの影響により、成長率が鈍化しました。国内においては、政府による物価高対策などの経済対策により民間投資や個人消費が拡大し、緩やかな回復基調を維持しました。

当社グループが関連する自動車業界では、半導体メーカーの増産や自動車メーカーの生産調整により、半導体の供給状況が改善し、自動車生産が回復しました。

このような状況の下、当社グループにおいては、今期から新たな中期経営計画（2023年度-2027年度）をスタートし、「モビリティ進化への対応」、「経営基盤の強化」、「財務体質の健全化」を重点施策として、計画達成に向け諸施策を推進しております。

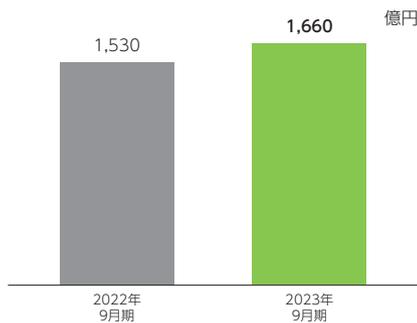
当第2四半期連結累計期間の連結業績は、半導体供給の改善による自動車生産の回復を背景とした販売増に加え、為替影響もあり、連結売上高は1,660億20百万円（前年同期比8.5%増）となり、連結営業利益は69億79百万円（前年同期は4億25百万円の連結営業利益）となりました。中国エリアは日系自動車メーカーの販売低調が続いているものの、日本や米国エリアでは販売が回復傾向にあり、アジアエリアは引き続き二輪事業が好調に推移していることから、前年同期比で増収増益となりました。また、為替差益が13億6百万円発生したことから、連結経常利益は85億36百万円（前年同期比331.6%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、45億11百万円（前年同期は9億53百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

取締役社長 北田 勝義

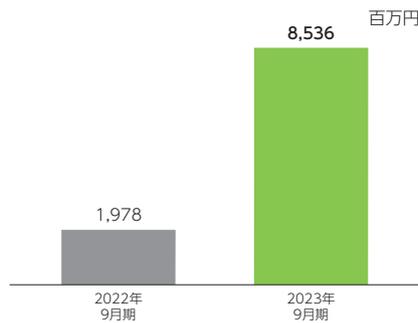


■ 連結財務ハイライト

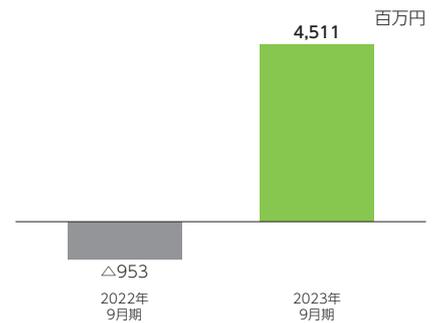
■ 売上高



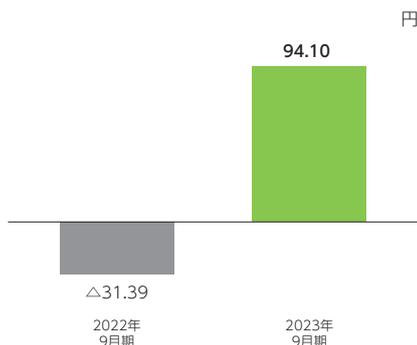
■ 経常利益



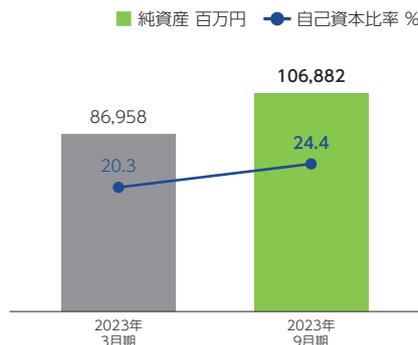
■ 親会社株主に帰属する四半期純利益



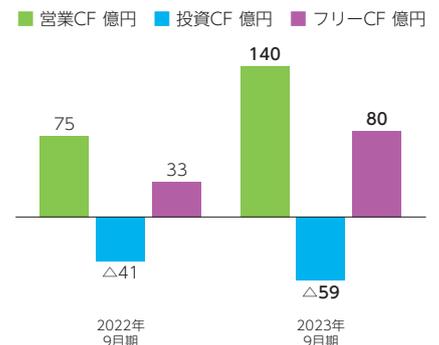
■ 1株当たり四半期純利益



■ 純資産



■ キャッシュ・フロー

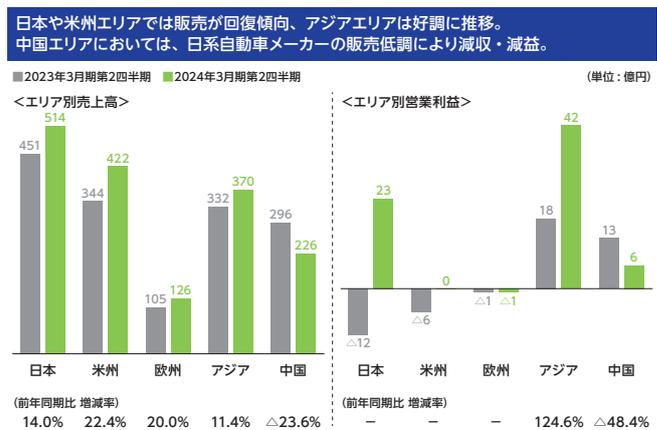


セグメント別業績

	2023年3月期 第2四半期			2024年3月期 第2四半期			営業利益 増減額 (A-B)	営業利益 増減率 (A/B)
	売上高	営業利益 (B)	営業 利益率	売上高	営業利益 (A)	営業 利益率		
輸送用機器関連事業	1,435	△4	△0.3%	1,561	59	3.8%	63	-
情報サービス事業	68	5	8.6%	75	8	10.9%	2	40.0%
その他事業	25	2	9.0%	22	1	8.9%	△0	△14.8%
調整額	-	0	-	-	0	-	△0	-
合計	1,530	4	0.3%	1,660	69	4.2%	65	-

輸送用機器関連事業	・四輪事業…中国エリアは日系自動車メーカーの販売低調が続いているものの、日本や米国エリアでは販売が回復傾向 ・二輪事業…アジアエリアにて引き続き二輪事業が好調に推移
情報サービス事業	・自治体・警察・ガス事業者向けのシステム販売や、車載系組込ソフトウェア開発支援業務、製造業向けAMOサービスなどのITエンジニアリングサービスなどが堅調に推移したことから増収・増益
その他事業	・市販事業において、主に用品販売事業の低迷により減収・減益

エリア別業績



2024年3月期第2四半期決算のポイント

当第2四半期連結累計期間においては、半導体供給の改善により自動車生産が増加し、足下では四輪事業の売上が回復基調にあること、ならびに二輪事業が引き続き好調に推移したことに加えて、経費面では、物流費を中心とした削減により、連結営業利益が前回発表予想を上回りました。また、米国の金利上昇に伴い円安が進んだことにより、為替差益13億6百万円を計上したことから、連結経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益も前回発表予想を上回りました。なお、通期の連結業績予想につきましては、中国エリアでの販売動向が不透明であることや、今後の為替変動の影響が見通せないことから、2023年5月10日に公表いたしました2024年3月期の連結業績予想を据え置いております。

寄付に関するご報告

当社では、株主優待制度を通じ、日本赤十字社の海外救済金への寄付活動を行っております。本年度は459名の株主さまのご賛同をいただき、537,000円を寄付させていただきました。株主さまには厚く御礼申し上げますとともに、引き続き社会貢献活動に取り組んでまいります。

※寄付金は海外で大規模な災害や紛争などの緊急事態が発生した際に、被災地の赤十字社や日本赤十字社が現地で実施する救援活動・復興支援活動を支援するための海外救済金に役立てられます。

株式に関するお手続き

証券会社の口座に記録された株式

お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先
単元未満株式の買取・買増請求 配当金の受領方法・振込先のご変更 届出住所・姓名などのご変更 マイナンバーに関するお届出・お問い合わせ	口座を開設されている証券会社
郵送物の発送と返戻に関するご照会 株式実務一般に関するお問い合わせ 支払期間経過後の配当金に関するご照会	株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-232-711 (通話料無料) https://www.tr.mufg.jp/daikou/

特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先
単元未満株式の買取・買増請求 配当金の受領方法・振込先のご変更 届出住所・姓名などのご変更 マイナンバーに関するお届出・お問い合わせ 特別口座から証券口座への振替請求	特別口座の 口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-232-711 (通話料無料) https://www.tr.mufg.jp/daikou/
郵送物の発送と返戻に関するご照会 株式実務一般に関するお問い合わせ 支払期間経過後の配当金に関するご照会	株主名簿管理人